

中央市 AI デマンド交通『のるーと中央』

(実証運行の利用状況、課題対策の検討・実施、運行内容の見直し)

令和 8 年 7 月

【目 次】

1.実証運行の利用状況		1 頁
1-1.実績概要		1 頁
1-2.分析概要		2 頁
(1)登録者及び利用者の分析	2 頁	
(2)利用分析	3 頁	
(3)乗降場所分析	4 頁	
2.課題対策の検討・実施		6 頁
3.運行内容の見直し		7 頁

1. 実証運行の利用状況（令和 8 年 6 月末時点）

1-1 実績概要

デマンド交通実証運行実施計画における実証運行期間（最長 3 年間）の暫定目標は、年間利用者数：12,000 人、**1 日あたり 50 人**、1 日 1 台あたり 25 人です。

表 のるーと中央の利用実績（2026 年 6 月末時点）

項目		前回の実績 (10 月～翌 1 月)	今回の実績 (10 月～翌 6 月)	項目単位	直近の実績 (6 月)
乗車実績	運行期間	4 か月	9 か月		1 か月
	運行日数（累計）	79 日	179 日	1 か月	22 日
	運行回数（累計）	651 便	2,234 便	1 か月	406 便
	運行回数（1 日あたり）	8.2 便/日	12.5 便/日	1 日あたり	18.5 便/日
	乗客数（累計）	718 人	2,516 人	1 か月	450 人
	乗客数（1 日あたり）	9.0 人/日	14.1 人/日	1 日あたり	20.5 人/日
	乗客数（1 便あたり）	1.1 人/便	1.1 人/便	1 日あたり	1.1 人/便
	電話予約数（累計）	499 件 (76.7%)	1,570 件 (70.3%)	1 か月	286 件 (70.4%)
	アプリ予約数（累計）	152 件 (23.3%)	664 件 (29.7%)	1 か月	120 件 (29.8%)
	平均移動距離（累計） 【参考】 東花輪駅から市役所まで 約 1.5km	3.56km	3.56km	1 か月	3.78 km
登録者実績	登録者数（累計）	477 人	746 人		
	登録者数の人口割合 【参考】 2026 年 1 月末 30,381 人 2026 年 6 月末 30,325 人	1.57%	2.46%		
	利用歴のある登録者数	108 人	228 人		
	複数回利用した登録者数	71 人	165 人		

表 とまチュウバスの利用実績（令和 6 年度）

項目		数値
乗車実績	年間利用者数	8,906 人/年
	利用者数（1 日あたり）	30.4 人/日
	利用者数（1 便あたり）	4.7 人/便

1-2 分析概要

(1)登録者及び利用者の分析

○登録者数（利用回数別）

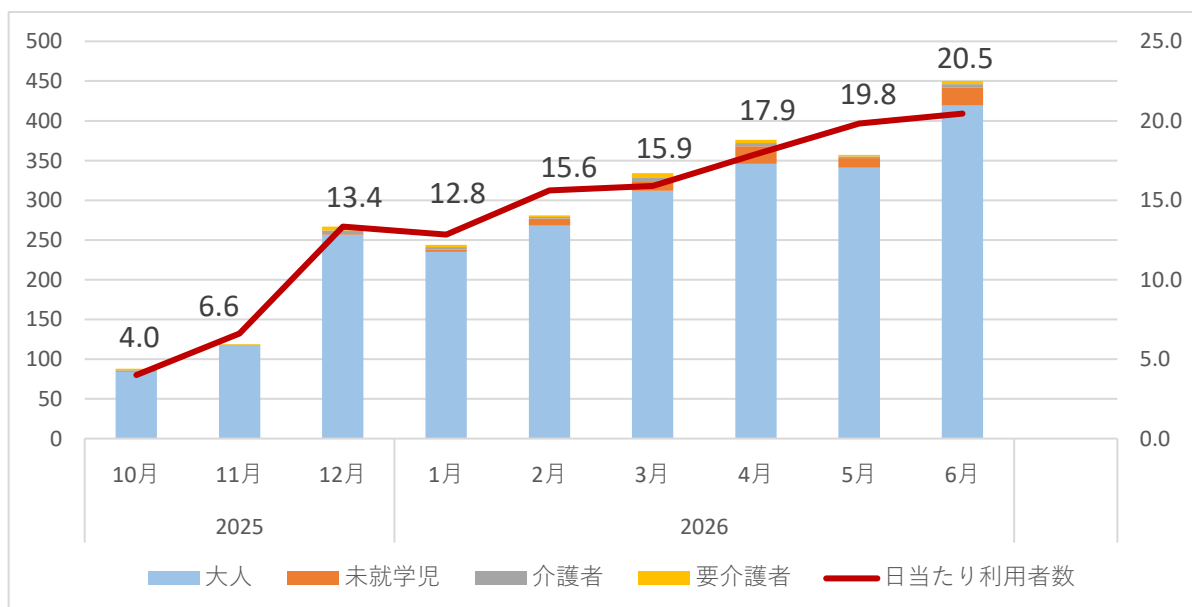
令和 8 年 6 月末時点の利用状況として、登録者のうち利用回数 0 回の人が 518 人と最多で、利用経験者は 228 人とどまっています。特定の場面での利用が見られる一方で、継続的に活用するユーザーも一定数存在します。今後は認知向上を図り、利用者の体験談を活用した具体的な利用イメージの発信を行います。

利用回数	登録者数	利用回数割合	利用者数	利用者割合
0 回	518 人	69.4%	—	—
1 回	63 人	8.4%	63 人	27.6%
2 回	37 人	5.0%	37 人	16.2%
3 回	18 人	2.4%	18 人	7.9%
4 回	16 人	2.1%	16 人	7.0%
5～9 回	31 人	4.2%	31 人	13.6%
10～29 回	42 人	5.6%	42 人	18.4%
30～49 回	15 人	2.0%	15 人	6.6%
50～99 回	5 人	0.7%	5 人	2.2%
100 回以上	1 人	0.1%	1 人	0.4%
総計	746 人	100.0%	228 人	100.0%

○利用者数の推移（月別）

令和 8 年 6 月末時点の延べ利用者数は 2,516 人です。月別の利用状況を見ると、10 月は 88 人、11 月は 119 人でしたが、11 月末のコミュニティバス休止の影響を受け、12 月には 267 人と利用者数が倍増して以降も増加が続き、6 月には 450 人に達しています。

1 日あたりの利用者数は、12 月に 10 人を超えて以降、増加を続け、6 月には 20 人を超えました。

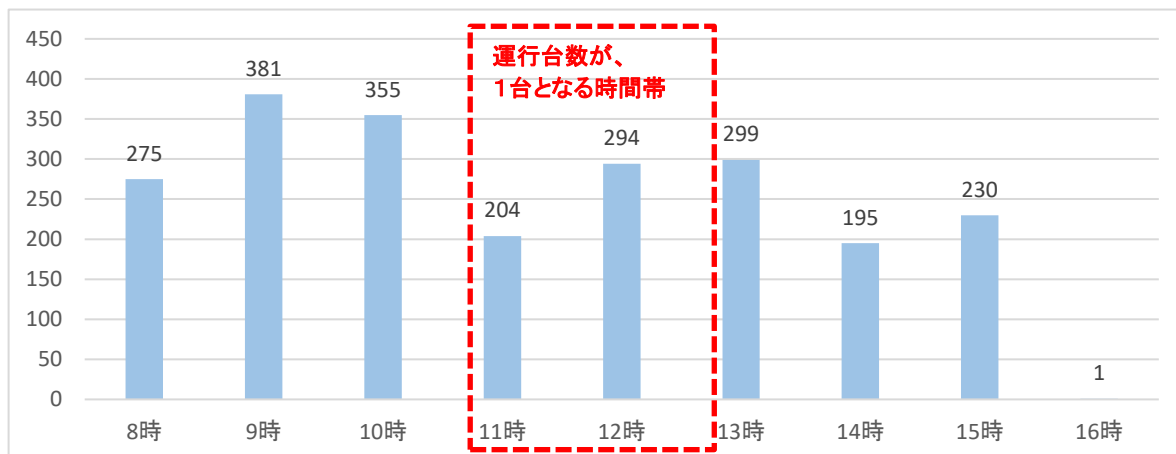


(2) 利用分析

○利用件数（時間帯別）※乗車完了時間を集計（乗り合わせは、1 件）

令和 8 年 6 月末現在の利用件数を時間帯別で見ると、午前 9 時台と 10 時台の利用が多い傾向にあります。さらに、11 時、12 時台は運転手の休憩により運行台数が 1 台となる影響を考慮すると、12 時台の利用件数も多いことが伺えます。

午前中の用事を済ませた方の帰りの便と、午後からの用事に向かう方の行きの便が重なり混雑している状況を解消するため、7 月から運転手の休憩時間を調整し、11 時 40 分から 12 時 30 分までの間は 2 台が稼働する体制を整えました。同時時間帯前後における利用者の乗車希望時間の変化について、今後も注視していきます。



(旧)シフト



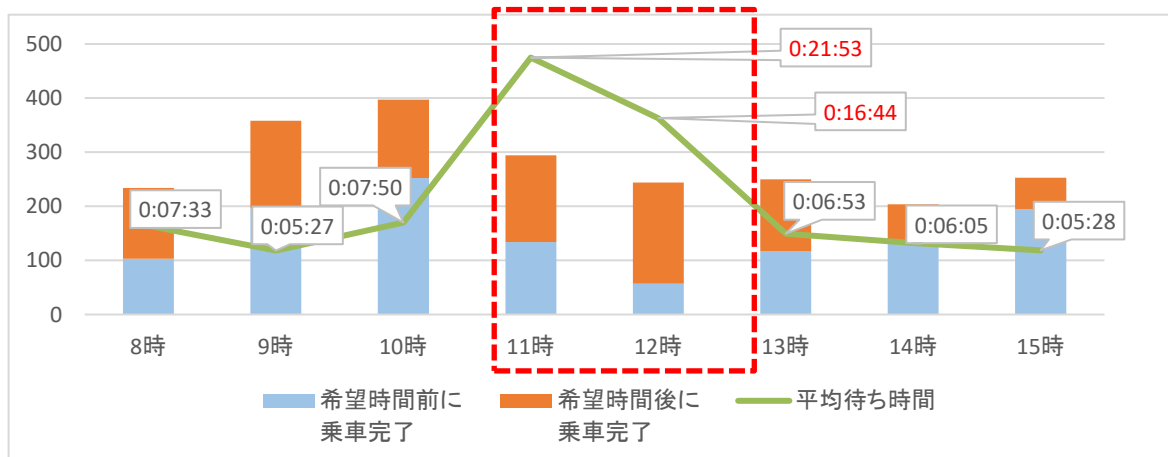
(新)シフト



休憩時間の変更内容： 1号車 11:00～12:00 → 10:40～11:40 20分前倒し
2号車 12:00～13:00 → 12:30～13:30 30分後ろ倒し

○待ち時間（時間帯別）※予約の際の乗車希望時間から、何分後に乗車完了したか集計

令和 8 年 6 月末までの平均の待ち時間は 10 分以内となっています。ただし、運転手の休憩により車両が 1 台体制となる 11 時台および 12 時台では、待ち時間が 10 分を超える場合があります。それ以外の時間帯では、特筆すべき遅延は発生していません。



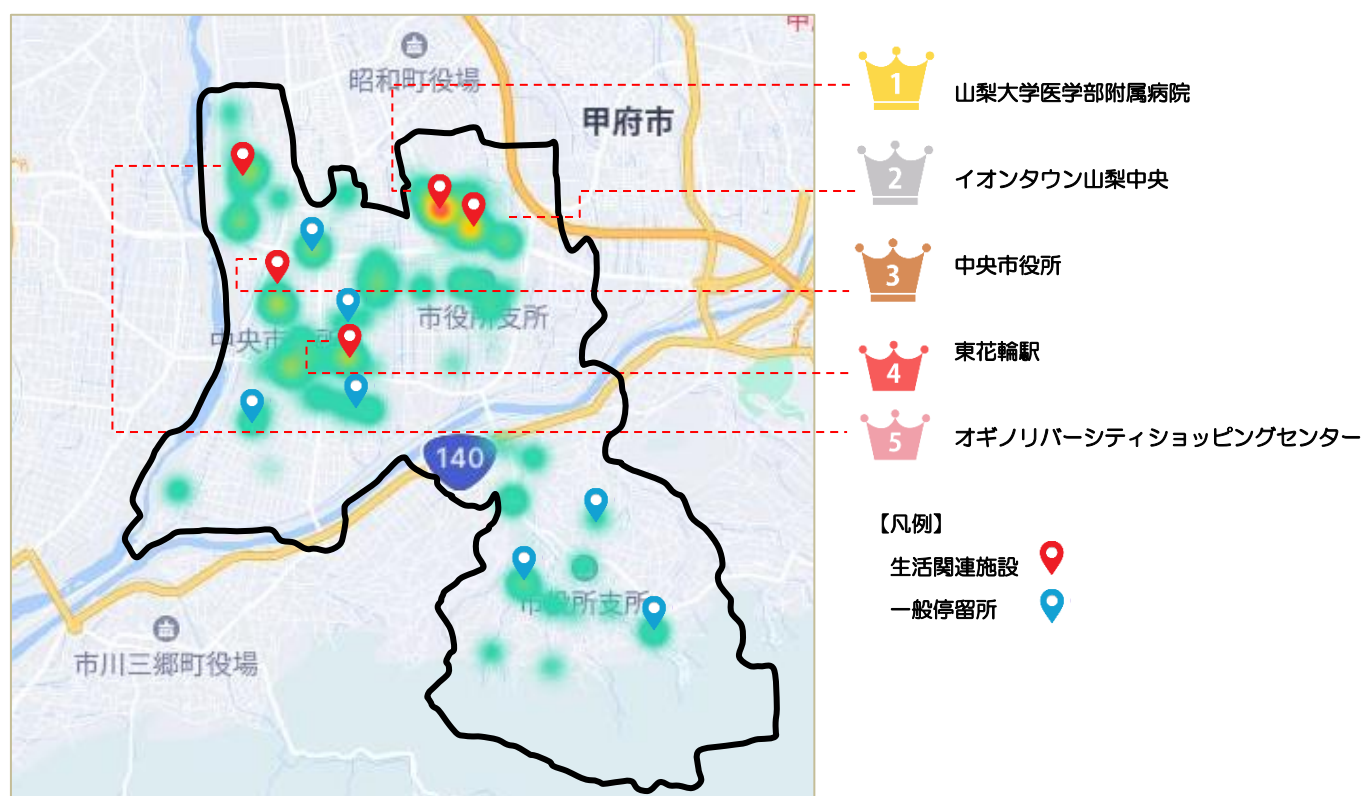
(3)乗車場所分析

○目的地：降車場所の順位

令和 8 年 6 月末時点の降車場所を見ると、行きの便の目的地である生活関連施設のうち、「山梨大学医学部附属病院」が 293 件と最も多く、次いで「イオンタウン山梨中央」が 174 件、「中央市役所」が 95 件、「東花輪駅」が 82 件、「オギノリバーシティショッピングセンター」が 77 件と続きます。

一方、帰りの便の目的地となる一般停留所のうち、「布施第 4 3」、「大鳥居 5」、「浅利 4」、「関原 1」、「桜 2」、「飛石 1」、「下三條 1 4」は、特に利用の多い地域であることが分かります。

順位	降車場所（1～10 位）	利用 件数	順位	降車場所（11～20 位）	利用 件数
1	4024 山梨大学医学部附属病院	293	11	7020 大鳥居 6	57
2	3001 イオンタウン山梨中央	174	12	3002 イッツモア玉穂ショッピングセンター	45
3	1001 中央市役所	95	13	1004 玉穂総合会館	43
4	2002 東花輪駅	82	14	7004 浅利 4	42
5	3004 オギノリバーシティショッピングセンター	77	15	7024 関原 1	37
6	5027 布施第 4 3	75	16	4013 玉穂ふれあい診療所	36
7	4011 玉穂眼科クリニック	61	17	5085 桜 2	36
8	4001 赤岡整形外科医院	60	18	3007 トライアルマート西花輪店	35
9	4015 西野内科医院	59	19	5068 飛石 1	33
10	4007 きたむらクリニック	57	20	6080 下三條 1 4	32

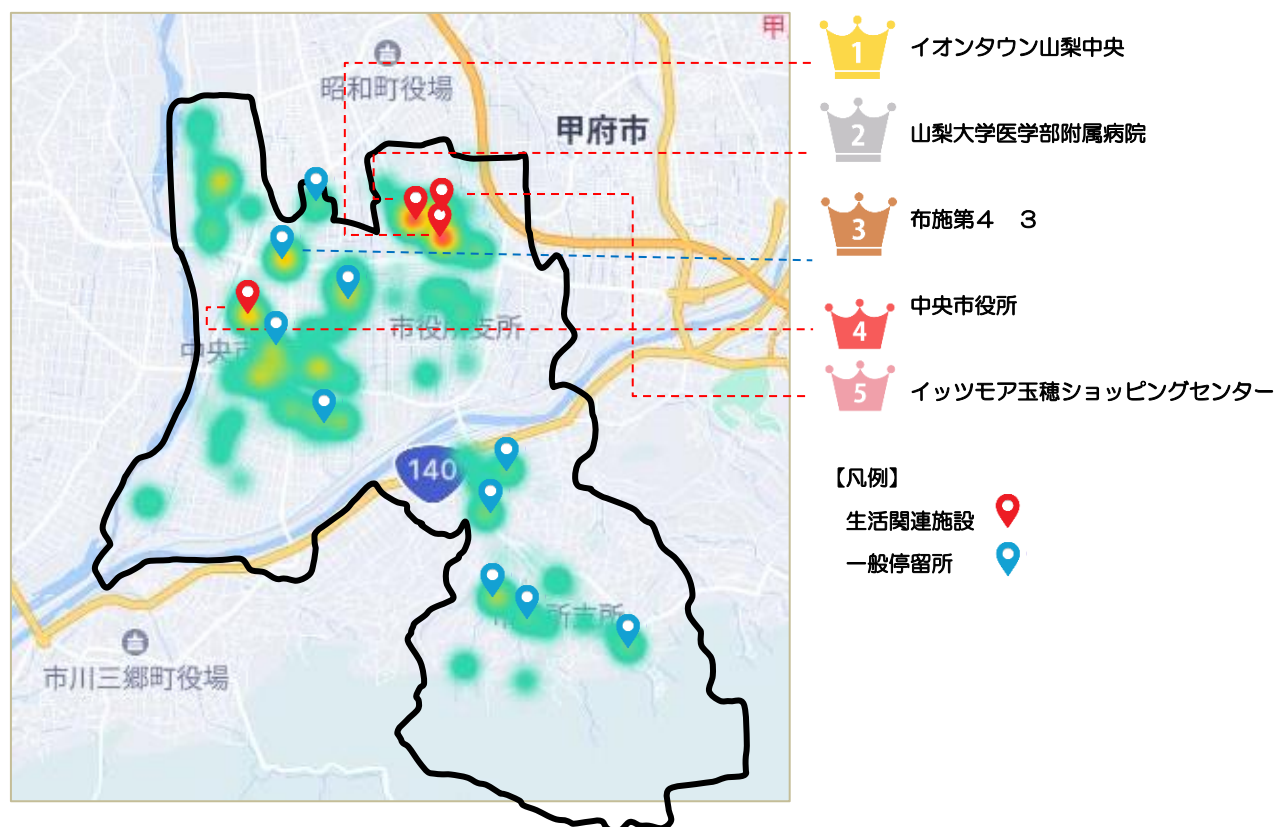


○出発地：乗降場所の順位

令和 8 年 6 月末時点の乗車場所を見ると、生活関連施設のうち「イオンタウン山梨中央」が 187 件で最も多く、次いで「山梨大学医学部附属病院」が 167 件となっています。両施設が隣接していることに加え、「山梨大学医学部附属病院」の降車件数が 293 件である点を踏まえると、病院受診後に隣接するイオンタウンで買い物をし、帰りの便を利用する流れがあると推測されます。

一方、一般停留所については降車件数との共通点が多いものの、「新町第２ ２」、「上三條 ３」、「宮北 １」など若干の差異が見られ、行きの便のみ利用して帰りは別の手段を利用するケースが考えられます。今後も利用者行動のさらなる分析を行うことで、運行の改善につなげます。

順位	乗車場所（１～１０位）	利用 件数	順位	乗車場所（１１～２０位）	利用 件数
１	3001 イオンタウン山梨中央	187	11	7004 浅利 ４	46
２	4024 山梨大学医学部附属病院	167	12	3003 オギノ田富店	45
３	5027 布施第４ ３	107	13	3007 トライアルマート西花輪店	41
４	1001 中央市役所	95	14	4022 保坂眼科医院	40
５	3002 イッツモア玉穂ショッピングセンター	81	15	4011 玉穂眼科クリニック	39
６	2002 東花輪駅	72	16	7024 関原 １	39
７	3004 オギノリバーシティショッピングセンター	72	17	7013 高部 ３	37
８	7020 大鳥居 ６	66	18	6069 上三條 ３	34
９	5036 新町第２ ２	59	19	5021 宮北 １	32
10	5085 桜 ２	48	20	7030 大鳥居１０	31



2.課題対策の検討・実施

前回の協議会において、登録者アンケート及び交通空白地域アンケートの結果を踏まえ、次のとおり課題を整理しました。このうち、早急に取り組む課題として

【認知度の向上】及び【乗降ポイントの不足】への対策を推進し、すべての市民が利用可能な環境を優先的に整える方針となりました。

また、その他の課題については検証を進めることとしました。 凡例：赤字は優先的な課題、青字は進展のあったその他の課題、下線は運行内容の見直しに資するもの

運行内容		課題	懸念されること	状況
運行時間	8時から16時	【朝時間帯の拡大】 7時台の運行 【夜間時間帯の拡大】 16～19時台の運行	運行事業者との協議（人員確保・費用の増加） 他の公共交通への影響	【朝時間帯の拡大】 ・7時台の運行（朝1時間の延長）は、現行の人員での調整は難しい 【運行時間帯の拡大】 ・16時台の運行（夜1時間の延長）は、現行の人員での調整が可能 17時台以降（夜2時間以上の延長）の運行は、追加の人員が必要
運行日				
平日 ※年末年始を除く		【休日の運行】 土曜日の運行	運行事業者との協議（人員確保・費用の増加） 他の公共交通への影響	【休日の運行】 ・土曜日の運行には、追加の人員が必要
運行エリア	市内全域	【市外への乗り入れ】 特に、イオンモール（昭和町）への乗り入れ希望が多い。	関係者との協議・調整 移動時間の増加（配車効率の低下） 他の公共交通への影響 市内商業施設への影響	【市外への乗り入れ】 ・本格運行に際して検討
乗降場所				
一般停留所 （自治体管理のごみ集積所） 生活関連施設 （駅・商業・医療・公共施設など）		【乗降ポイントの不足】 ・一部エリアについて、乗降ポイントの不足がみられる。 ・市内医療機関について追加の要望がある。	関係者との協議・調整	【乗降ポイントが不十分なエリアの選定】 ・田富地区の南部、玉穂地区の東部 おおむね10か所 【傾斜地により、徒歩での移動が困難なエリアの検討】 ・豊富地区全域 おおむね10か所 【市内医療機関などへの呼びかけ】 ・医療機関、商業施設、郵便局など おおむね10か所
運賃	1乗車：500円	【運賃割引】 500円という料金設定について高額であるとの声がある。	関係者との協議・調整 他の公共交通への影響 運賃収入への影響 費用対効果への影響	【運賃割引】 ・本格運行に際して検討 ※システムの機能を利用した「往復利用のみ」の割引は、対応できない旨の回答あり
その他				
認知度向上が必要		【認知度の向上】 市民の「のーと中央」の認知度が5割程度である。	—	【広報を利用した全体周知】 ・広報7月号に実績報告を掲載 ※以降も定期的に掲載 【自治会への訪問説明会の実施】 ・市社会福祉協議会の地域事業（ふれあい健康塾）に同行し、説明会を6件開催 自治会からの要望に応じた組回覧用のチラシ作成 1件など 【地域ボランティア（スマートフォン支援員）との連携】 ・約30名の支援員の出前講座に同行し、説明会を4件開催 ※以降も支援員から受講者に伝達
利便度の向上が必要		【総合交通マップ作成】 市内には鉄道、路線バス、タクシー、のーと中央など公共交通機関が運行されているが、それぞれの運行情報が分散しているため、市民や来訪者が市内公共交通の全体像や目的地への移動手段、乗継方法などを容易に把握することが難しい状況である。	—	【総合交通マップ作成】 ・市内公共交通ネットワークの情報（運行ルート、停留所、運行時刻、主要施設へのアクセス手段など）を一体的に整理し、分かりやすく可視化 ・のーと中央の効果的な利用環境の整備（のーと利用ガイドへの転載） ※10月頃に配布予定

3. 運行内容の見直し

デマンド交通の運行概要は以下のとおりです。運行内容については実証期間中に随時見直しを行い、前頁で挙げた課題への対策のうち、見直しが可能な項目は以下のとおりです。

表 運行概要

項目	現行	計画策定時の考え方
実証運行期間	最長 3 年※利用状況等を踏まえて、適宜、延長・終了を判断	デマンド交通が地域に浸透するまでの時間を考慮して長期間を設定。
運行時間	8 時～16 時	高齢者等の買物・通院時間帯を最優先に考慮して設定。 今後は、高校生によるニーズを確認しながら、運行時間帯の拡大も検討する。
運行日	平日 ※年末年始を除く	高齢者の外出頻度（買物は週 2 回、通院は月 2 回）を踏まえて設定。
運行エリア	市内全域	現在の公共交通利用圏を維持しつつ、公共交通空白地域をカバーする。
乗降場所	一般停留所：212 か所 生活関連施設：38 か所	高齢者等が無理なく移動可能な距離で乗車できるように設定。
車両	普通乗用車（利用定員 4 人）2 台	想定される利用者人数を踏まえて設定。
運賃 1 回あたり	大人（小学生以上）：500 円 未就学児：無料 要介護者：500 円 介護者：無料 ※要介護者 1 名につき介護者 1 名まで無料	コミュニティバスやタクシーの運賃やデマンド交通のサービス水準を踏まえて設定。 市負担額を低減することも考慮する。
予約手段	電話予約（7 時 30 分～15 時 30 分） アプリ予約（24 時間対応）	電話予約は、高齢者の利便性確保のため設置。 アプリ予約は、将来的なランニングコストの削減、利便性の向上のため導入。

【見直しが可能な項目】

- ・運行時間

（旧）8 時～16 時 →（新）8 時～17 時

- ・乗降場所

（旧）市内 250 か所 →（新）市内約 280 か所 ※おおむね 30 か所追加の見込み

中央市 AI デマンド交通『のるーと中央』 (実証運行の分析:令和 7 年 10 月から令和 8 年 6 月まで)

令和 8 年 7 月

【目 次】

実証運行の分析

1.実証運行概要	1
2.登録者分析	2
3.利用分析	5
4.乗降場所分析	15

実証運行の分析（令和 7 年 10 月 1 日～令和 8 年 6 月 30 日）

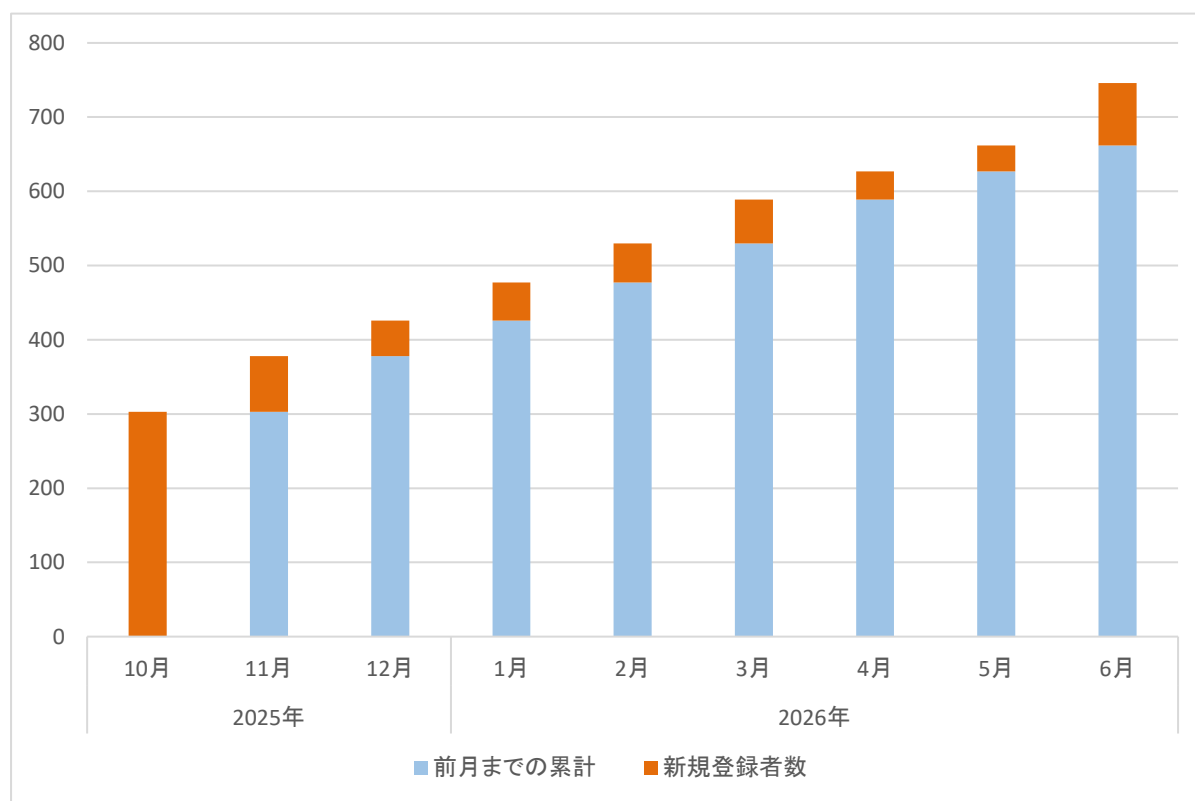
1.実証運行概要

実証運行期間	令和 7 年 10 月 1 日～令和 8 年 6 月 30 日(9カ月間)
運行日	月～金(土・日・祝・年末年始 12/29～1/3 は運休)
運行時間	8:00～16:00
運行エリア	市内全域
乗降場所	一般停留所:212カ所 生活関連施設:38 カ所 計:250 カ所
予約手段	スマートフォンアプリ又は電話
予約方法	今すぐ予約:30 分後以降に、配車が行われる 事前予約:6 日前から、日時を指定して配車が行われる
運賃(1 回あたり)	大人(小学生以上):500 円 未就学児:無料 要介護者:500 円 介護者:無料 ※要介護者 1 名につき介護者 1 名まで無料
支払方法	現金
使用車両	普通乗用車(利用定員 4 人)2 台
運行主体	中央市地域公共交通活性化協議会
運行事業者	有限会社花輪タクシー
システム事業者	ネクスト・モビリティ株式会社

2.登録者分析

○登録者数 推移(月別)

登録者は月ごとに増加を続け、令和8年6月末時点で746人に達しました。
令和8年4月および5月は増加ペースが鈍化しましたが、6月から地域訪問による説明会を開催したことで、新規登録者数が再び増加傾向を示しています。



単位:人

年	月	新規登録者数	前月までの登録者数	累計登録者数
2025 年	10 月	303	0	303
	11 月	75	303	378
	12 月	48	378	426
2026 年	1 月	51	426	477
	2 月	53	477	530
	3 月	59	530	589
	4 月	38	589	627
	5 月	35	627	662
	6 月	84	662	746

令和8年6月末時点で、市の人口は30,325人であり、登録者の割合は2.5%となっています。

○登録者数 年代・性別

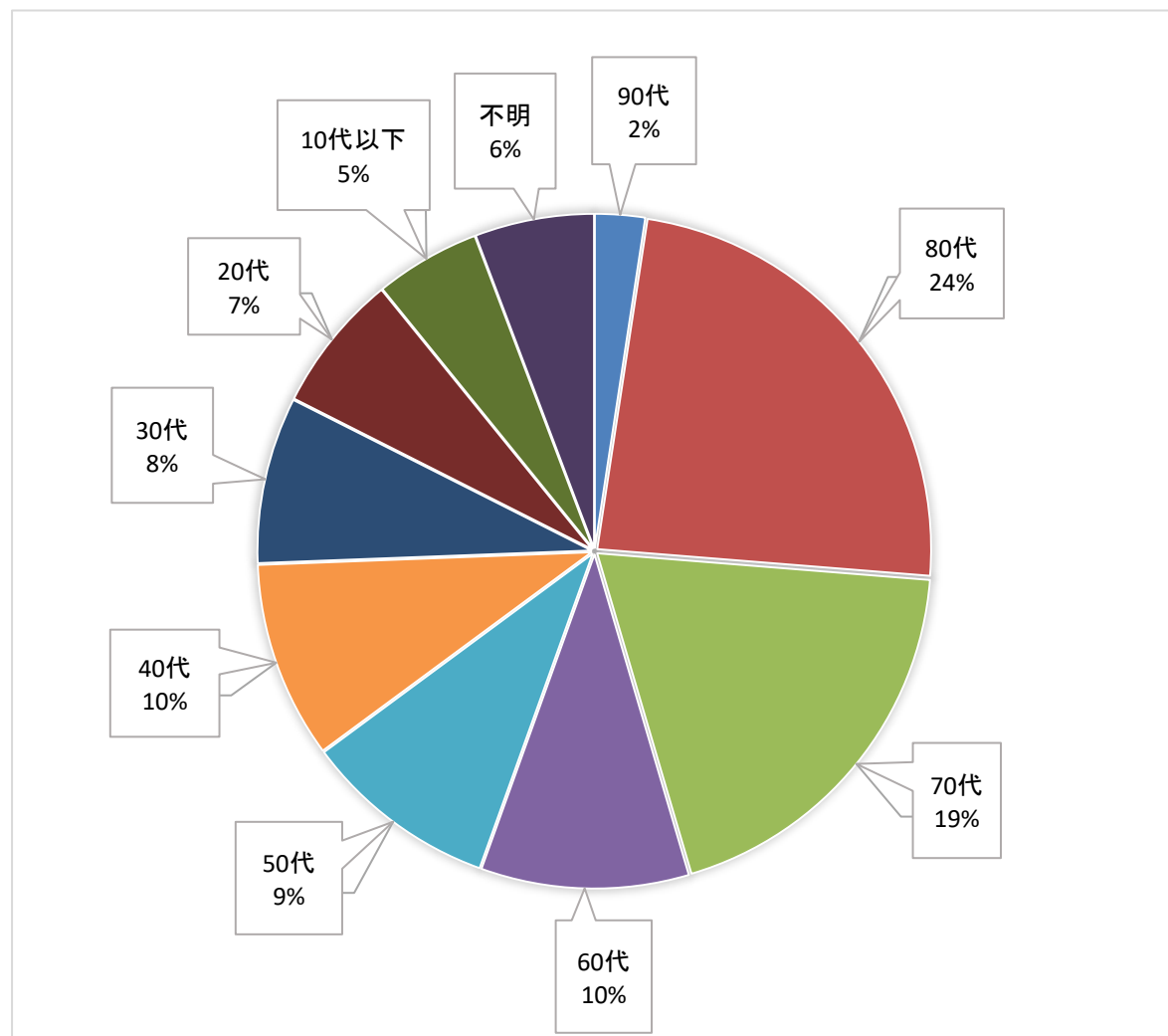
令和8年6月末時点の登録者の内訳を見ると、80代が23.9%で最も多く、次いで70代が19.2%、60代が10.1%となっています。70代以上の登録者が全体の45.5%を占め、およそ半数を構成していますが、60代以下の若い世代の登録者も約半数おり、幅広い年代での登録が確認されています。また、性別では女性の登録者が多い傾向にあります。

年代	人数	割合
90代	18	2.4%
80代	178	23.9%
70代	143	19.2%
60代	75	10.1%
50代	70	9.4%
40代	71	9.5%
30代	60	8.0%
20代	50	6.7%
10代以下	38	5.1%
不明	43	5.8%
総計	746	100.0%

(小計)
70代以上
45.5%

(小計)
60代以下
48.8%

性別	人数	割合
男性	220	29.5%
女性	397	53.2%
無回答	129	17.3%
総数	746	100.0%

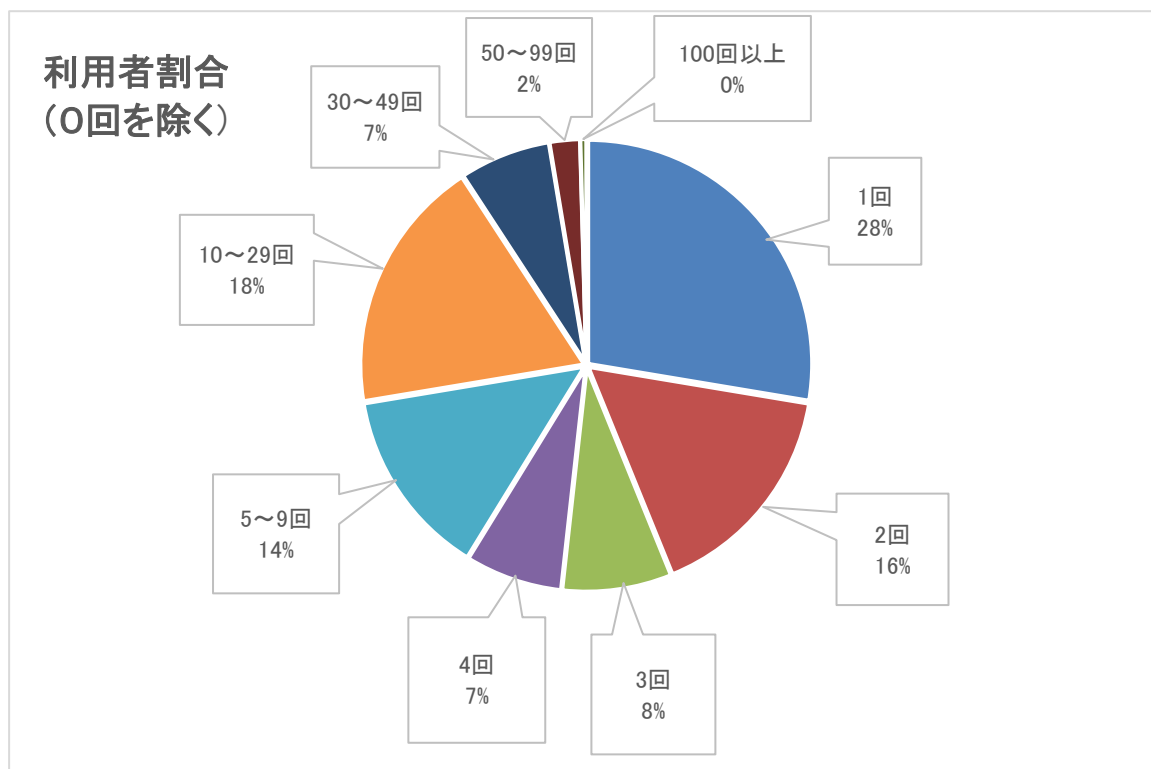


○登録者数 利用回数別

令和8年6月末時点の登録者の利用状況を内訳で見ると、利用回数が0回の人が518人と最も多くなっています。

一方、1回利用した人が63人、2回利用した人が31人と、特定の場面で必要に応じて使用する人が一定数いることがわかります。また、5～9回利用した人が31人、10～29回利用した人が42人と、日常的に活用している登録者も存在していることが確認できます。のるーと中央を利用したことがある人の総数は228人とどまっています。このことから、多くの登録者がサービスに対して一定の興味や関心を抱いて登録はしたものの、実際の利用には至っていないケースが多いことが伺えます。認知度の向上を図る中で、利用者の体験談など具体的な利用イメージを発信する取り組みを行います。

利用回数	登録者数	利用回数割合	利用者数	利用者割合
0回	518人	69.4%	—	—
1回	63人	8.4%	63人	27.6%
2回	37人	5.0%	37人	16.2%
3回	18人	2.4%	18人	7.9%
4回	16人	2.1%	16人	7.0%
5～9回	31人	4.2%	31人	13.6%
10～29回	42人	5.6%	42人	18.4%
30～49回	15人	2.0%	15人	6.6%
50～99回	5人	0.7%	5人	2.2%
100回以上	1人	0.1%	1人	0.4%
総計	746人	100.0%	228人	100.0%

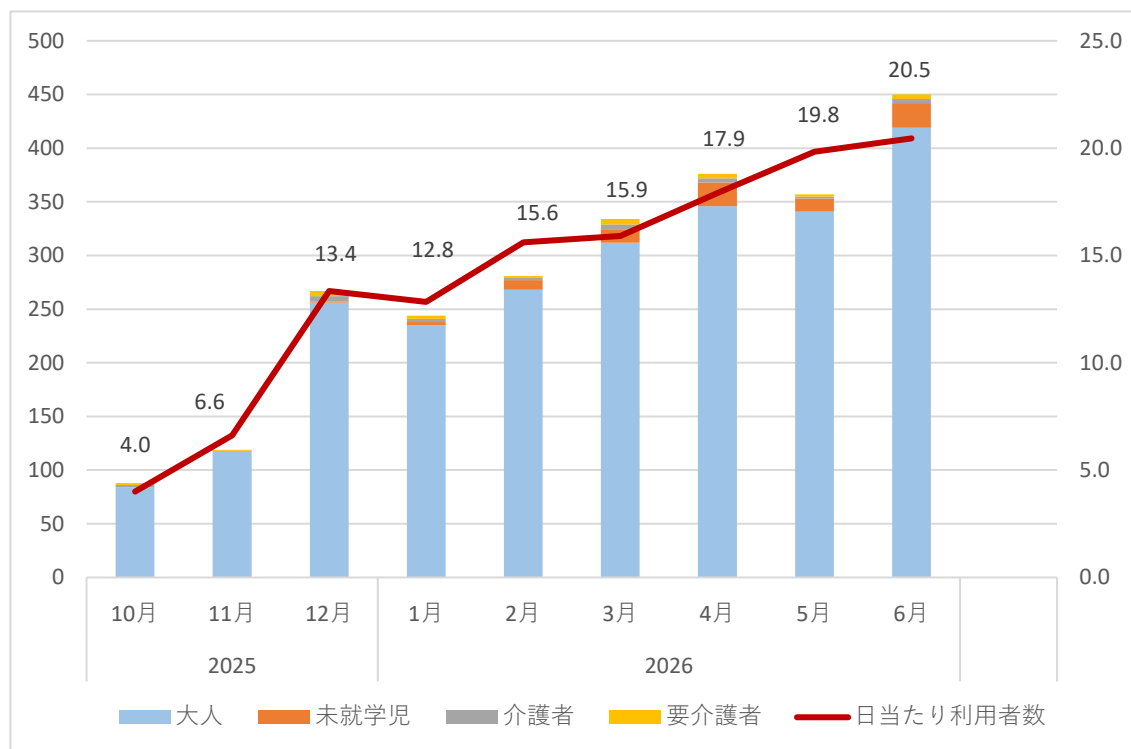


3.利用分析

○利用者数 推移(月別)

令和8年6月末時点の延べ利用者数は2,516人となりました。月別の利用状況を見ると、10月は88人、11月は119人でしたが、11月末のコミュニティバス休止の影響を受け、12月には267人と利用者数が倍増。その後も増加が続き、6月には450人に達しています。

日平均の利用者数は、12月に10人を超えて以降、増加を続け、6月には20人を超えました。



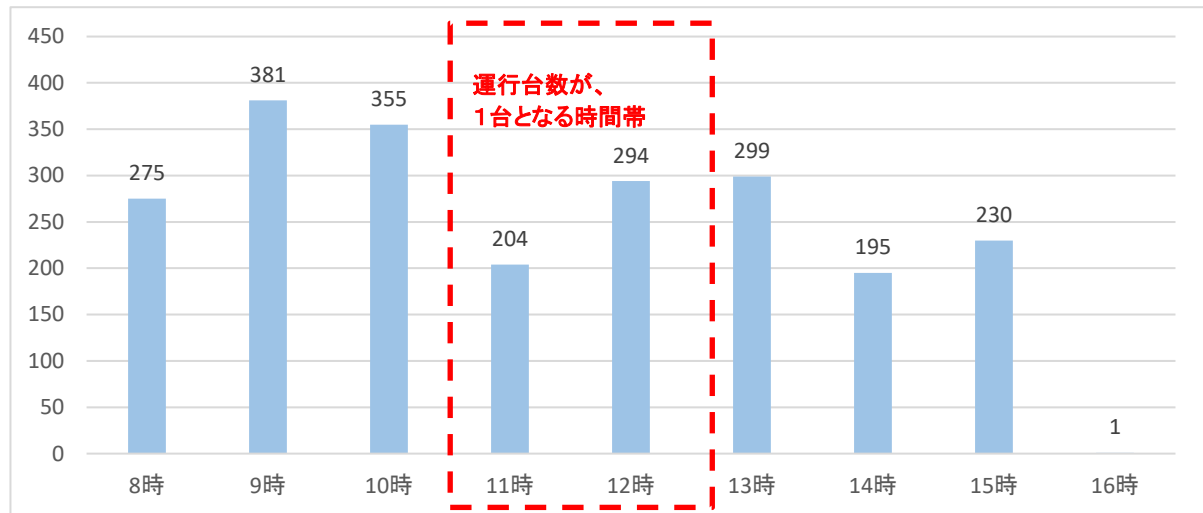
単位: 人

年	月	大人	未就学児	介護者	要介護者	利用者計	日平均の利用者数
2025 年	10 月	84		2	2	88	4.0
	11 月	117		1	1	119	6.6
	12 月	256	1	5	5	267	13.4
2026 年	1 月	235	3	3	3	244	12.8
	2 月	268	9	2	2	281	15.6
	3 月	312	12	5	5	334	15.9
	4 月	346	22	4	4	376	17.9
	5 月	341	12	2	2	357	19.8
	6 月	419	23	4	4	450	20.5
総数		2,378	82	28	28	2,516	14.1

○利用件数 時間帯別 ※乗車完了時間を集計(乗り合わせは、1 件)

令和 8 年 6 月末現在の利用件数を時間帯別で見ると、午前 9 時台と 10 時台の利用が多い傾向にあります。さらに、11 時、12 時台は運転手の休憩により運行台数が 1 台となる影響を考慮すると、12 時台の利用件数も多いことが伺えます。

午前中の用事を済ませた方の帰りの便と、午後からの用事に向かう方の行きの便が重なり混雑している状況を解消するため、7 月から運転手の休憩時間を調整し、11 時 40 分から 12 時 30 分までの間は 2 台が稼働する体制を整えました。同時間帯前後における利用者の乗車希望時間の変化について、今後も注視していきます。



【変更前の運行シフト】

1セル = 10分

	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
① R7.10.1~R8.6.30											
1号車		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2号車		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

【変更後の運行シフト】

1セル = 10分

	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
② R8.7.1~											
1号車		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2号車		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

【凡例】

- 通常運行
- 休憩
- 出庫前・入庫後の準備時間

時間帯	利用者数
8 時	275
9 時	381
10 時	355
11 時	204
12 時	294
13 時	299
14 時	195
15 時	230
16 時	1
総計	2,234

7月からの変更内容:

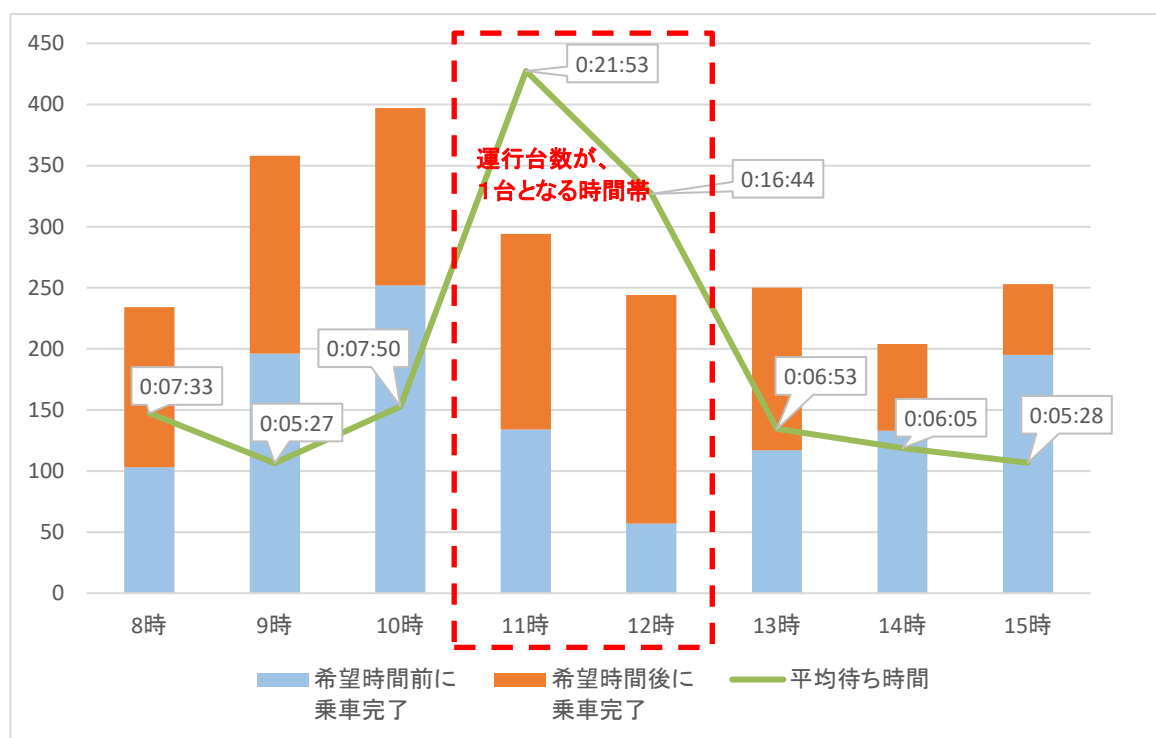
休憩時間 1号車 11時~12時 ⇒ 10時40分~11時40分 (20分の前倒し)
2号車 12時~13時 ⇒ 12時30分~13時30分 (30分の後ろ倒し)

運行時間 16時⇒16時10分

運行終了後に花輪タクシーまで戻るための10分間を準備時間ではなく運行時間に変更したことで、実際の予約枠を10分延長しました。

○待ち時間 時間帯別 ※乗車希望時間から何分後に乗車完了したか集計

令和8年6月末までの平均の待ち時間は10分以内となっています。ただし、運転手の休憩により車両が1台体制となる11時台および12時台では、待ち時間が10分を超える場合があります。それ以外の時間帯では、特筆すべき遅延は発生していません。



単位: 件数

時間帯	乗車希望時間帯別の件数(a)	乗車完了した時間帯別の件数(b)	希望時間とのギャップ件数(b)-(a)	希望時間前に乗車完了した件数	希望時間後に乗車完了した件数	平均の待ち時間
8時	234	275	41	103	131	7分33秒
9時	358	381	23	196	162	5分27秒
10時	397	355	△42	252	145	7分50秒
11時	294	204	△90	134	160	21分53秒
12時	244	294	50	57	187	16分44秒
13時	250	299	49	117	133	6分53秒
14時	204	195	△9	133	71	6分05秒
15時	253	230	△23	195	57	5分28秒
16時	0	1	1	0	1	—
総計	2,234	2,234	0	1,187	1,047	9分49秒

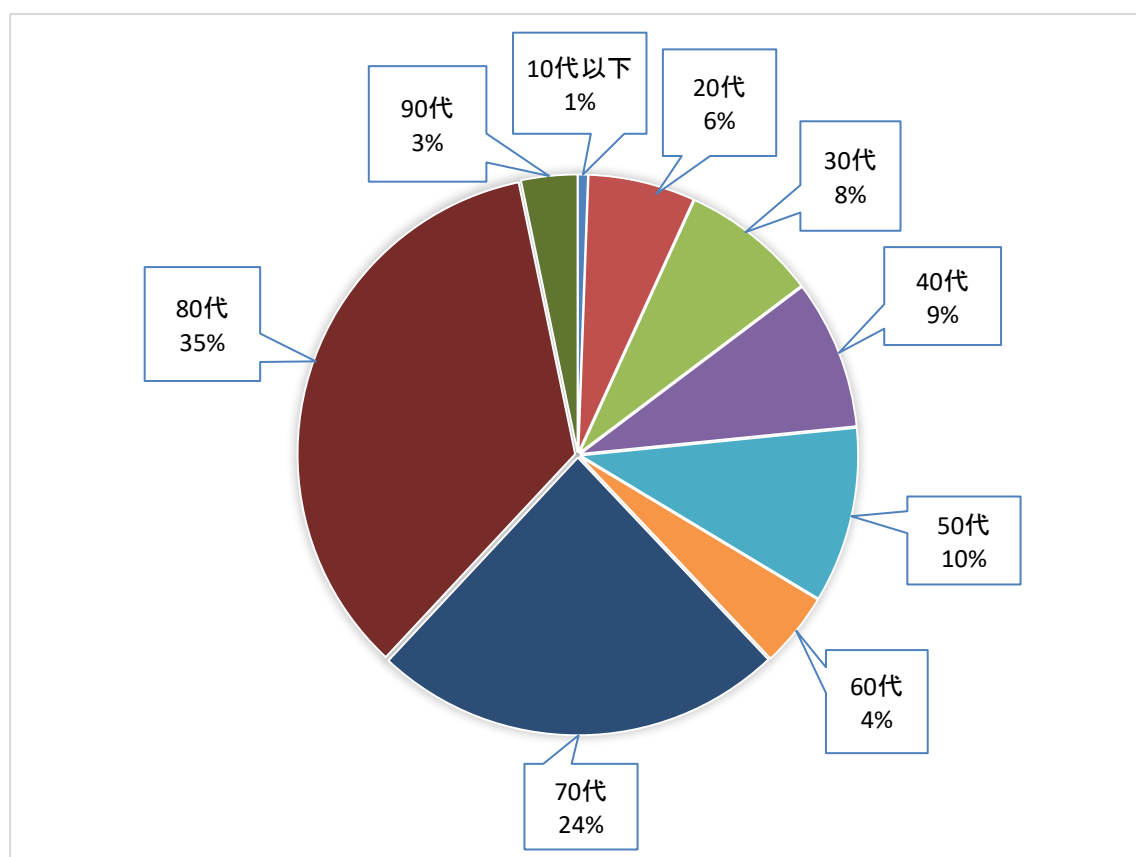
○希望時間帯とのギャップ件数 ※希望する時間帯とは別の時間帯に乗車した件数を集計「利用者の乗車希望時間帯別の件数(a)」と「乗車完了した時間帯別の件数(b)」を比較すると、10時台と11時台では利用希望数に対して予約枠が不足していることが分かります。この不足により、10時台の希望が9時台の利用に繰り越されたり、11時台の希望が12時以降に影響を及ぼしていると推測されます。

4.利用傾向分析

○利用件数 年代別

令和 8 年 6 月末までの年代別利用件数を見ると、80 代が 777 件と最も多く、次いで 70 代が 536 件となっています。全体の 62.1%を 70 代以上が占めており、高齢者層の利用が目立っています。一方で、若い世代では、登録者数と利用件数の年代別割合がほぼ一致していることから、登録者がそのまま利用につながる傾向が見て取れます。

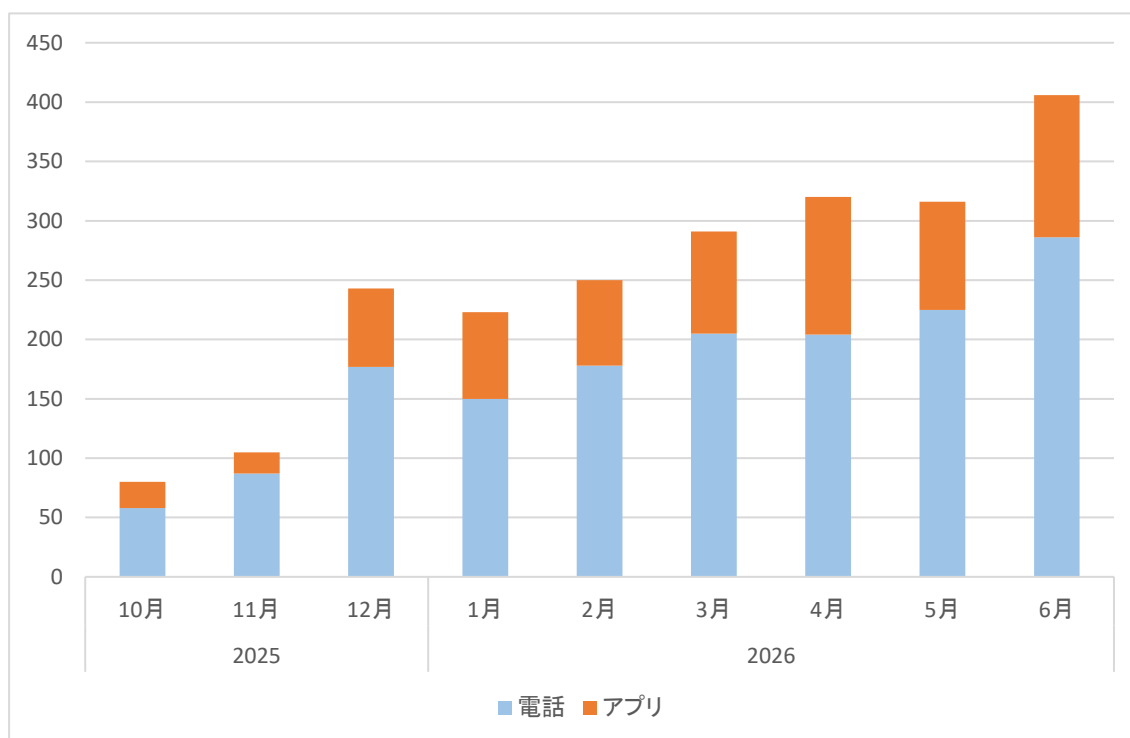
利用者年代	利用件数	利用件数年代割合	(参考)登録者年代割合
10 代以下	13	0.6%	5.1%
20 代	139	6.2%	6.7%
30 代	177	7.9%	8.0%
40 代	194	8.7%	9.5%
50 代	228	10.2%	9.4%
60 代	97	4.3%	10.1%
70 代	536	24.0%	19.2%
80 代	777	34.8%	23.9%
90 代	73	3.3%	2.4%
不明	0	0.0%	5.8%
総数	2,234	100.0%	100.0%



○予約方法推移 月別

令和8年6月末までの予約方法の内訳を見ると、電話予約が1,570件で、70.3%を占めています。月ごとの推移を見ても、電話予約とアプリ予約の割合は概ね「電話7:アプリ3」の比率となっています。

アプリ利用の促進を図るため、市社会福祉協議会を通じて、各地区のボランティアによるスマートフォン支援員にアプリ登録の支援を依頼し、利用者が予約以外にも「予約内容の確認」や「予約時刻の1時間前および直前の通知機能」を活用できるように働きかけていきます。

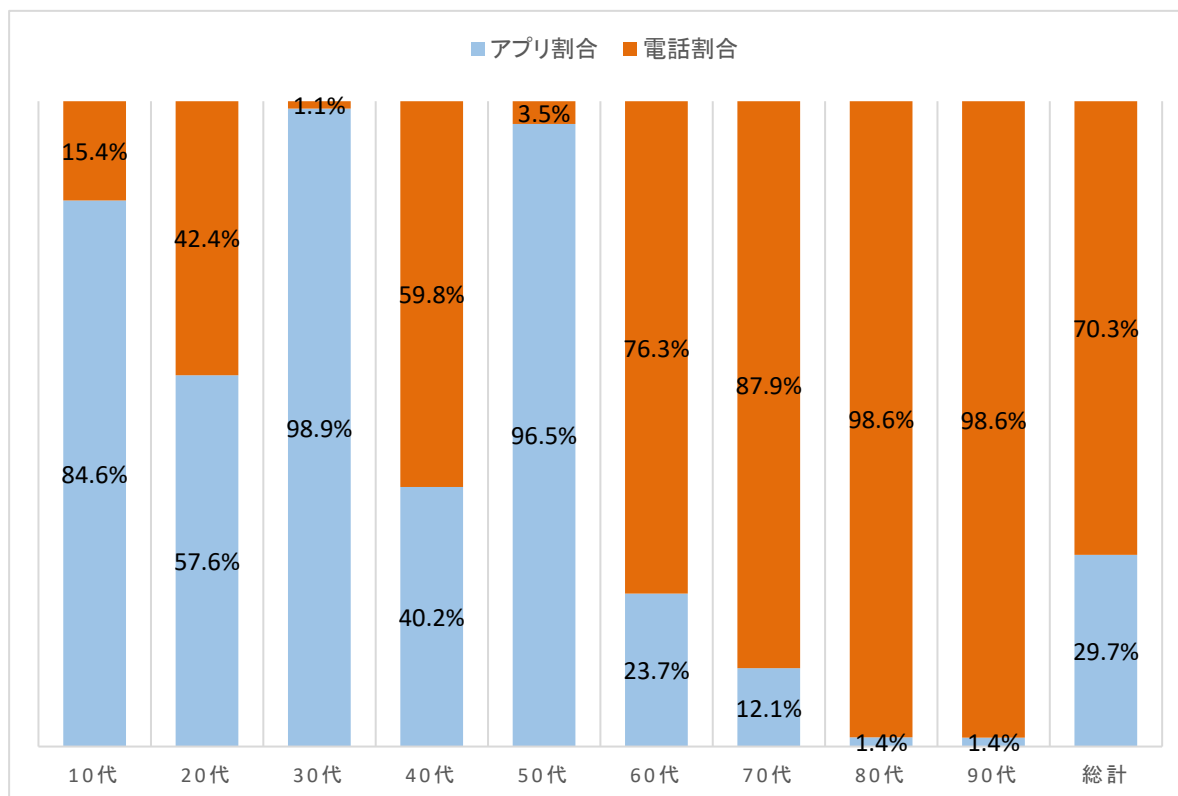


単位: 件数

年	月	電話	アプリ	総計	電話割合	アプリ割合
2025 年	10 月	58	22	80	72.5%	27.5%
	11 月	87	18	105	82.9%	17.1%
	12 月	177	66	243	72.8%	27.2%
2026 年	1 月	150	73	223	67.3%	32.7%
	2 月	178	72	250	71.2%	28.8%
	3 月	205	86	291	70.4%	29.6%
	4 月	204	116	320	63.8%	36.2%
	5 月	225	91	316	71.2%	28.8%
	6 月	286	120	406	70.4%	29.6%
総数		1,570	664	2,234	70.3%	29.7%

○予約方法割合 年代別

令和 8 年 6 月末までの予約方法の割合を年代別で見ると、50 代以下ではアプリの利用が一定数認められる一方、60 代以上では電話による予約が多い傾向が確認できます。これは、高齢者層がスマートフォン操作に不慣れであることや、従来の電話予約に慣れていることが背景と考えられます。アプリ利用の促進には、スマートフォンの操作方法やアプリの使い方を支援する活動の強化が重要です。また、若い世代には、便利さや通知機能などの活用を積極的に提案することで利用拡大を図ります。



単位: 件数

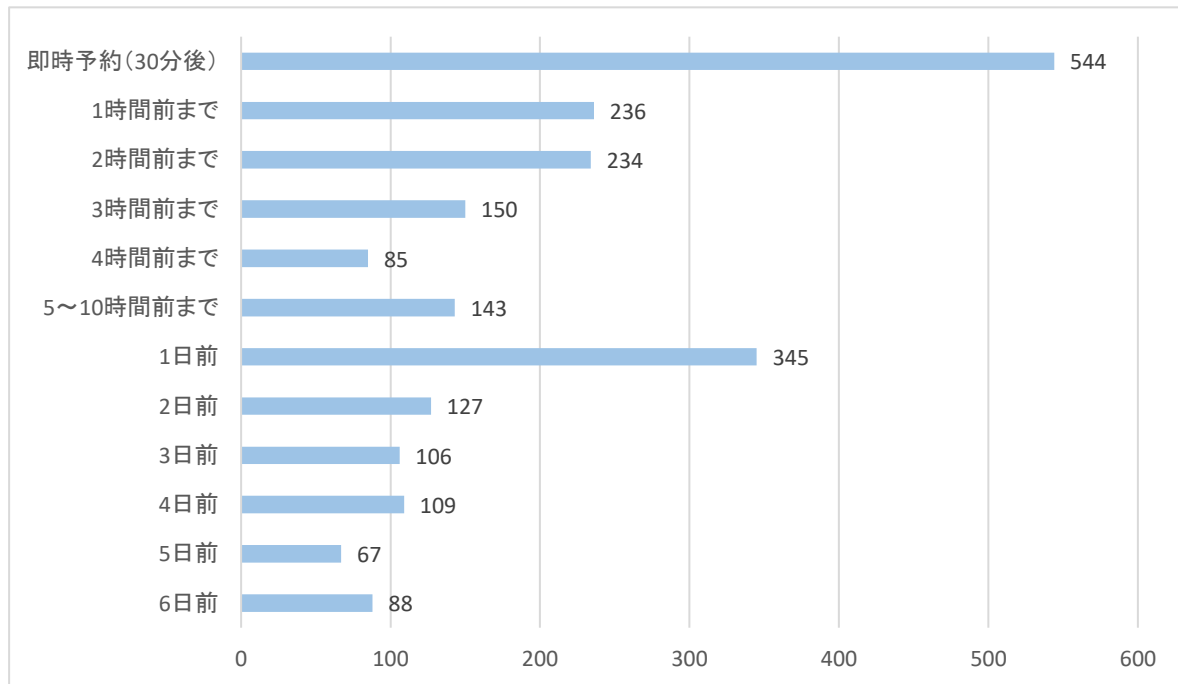
年齢	電話	アプリ	総計	電話割合	アプリ割合
10 代	2	11	13	15.4%	84.6%
20 代	59	80	139	42.4%	57.6%
30 代	2	175	177	1.1%	98.9%
40 代	116	78	194	59.8%	40.2%
50 代	8	220	228	3.5%	96.5%
60 代	74	23	97	76.3%	23.7%
70 代	471	65	536	87.9%	12.1%
80 代	766	11	777	98.6%	1.4%
90 代	72	1	73	98.6%	1.4%
総計	1,570	664	2,234	70.3%	29.7%

○予約タイミング

令和8年6月末までの予約タイミングを内訳で見ると、「30分後の即時予約」が544件で最も多く、次いで「1日前の予約」が345件となっています。

当日予約の場合、「30分後の即時予約」が突出して多いのは、病院の受診後やその他の用事を済ませた後に帰りの便を予約する傾向が反映されていると考えられます。

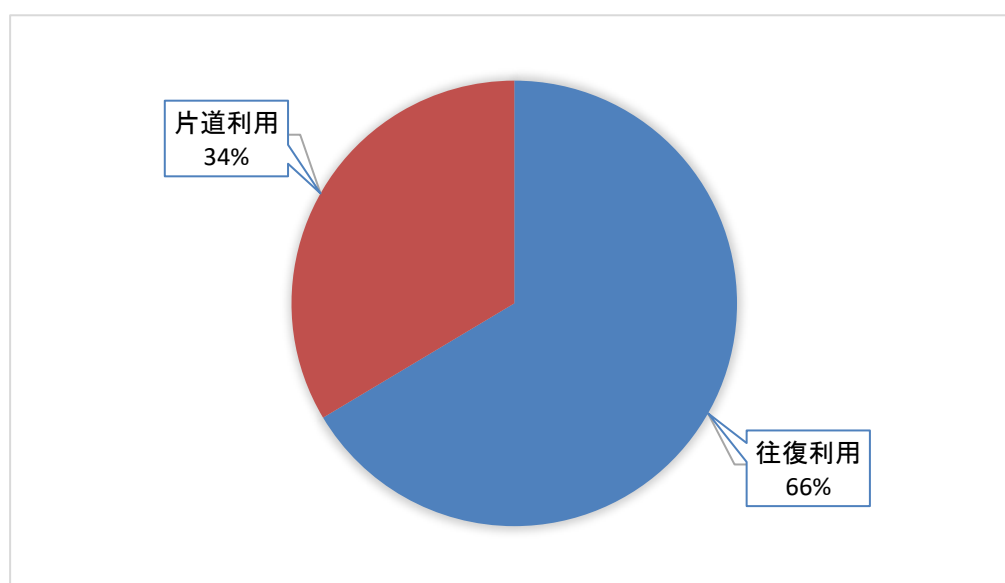
一方、事前予約では「1日前」が最も多く、2日前から5日前までは日にちが近づくほど件数が徐々に減少します。さらに、最も早いタイミングの「6日前の予約」も4%弱の割合で存在しており、一定数の利用者が早めの計画を立てていることが確認できます。



予約タイミング	予約件数	割合
即時予約(30分後)	544	24.4%
1時間前まで	236	10.6%
2時間前まで	234	10.5%
3時間前まで	150	6.7%
4時間前まで	85	3.8%
5～10時間前まで	143	6.4%
1日前	345	15.4%
2日前	127	5.7%
3日前	106	4.7%
4日前	109	4.9%
5日前	67	3.0%
6日前	88	3.9%
総数	2,234	100.0%

○片道利用と往復利用の割合 ※利用者が1日の間に複数回乗車した場合の別を集計
 令和8年6月末時点の利用件数を片道利用と往復利用の割合で見ると、「片道利用 1: 往復利用 2」という比率になっています。通院や買い物など、日常生活の移動手段として往復利用が主流となっている一方で、行きだけ、または帰りだけという用途に応じた片道利用も一定数存在しています。ただし、市民アンケート等からは、片道分の利用料金を節約する目的で片道利用を選んでいるという声も寄せられており、この点について留意する必要があります。

区分	件数	割合
片道利用	750	33.6%
往復利用	1,484	66.4%
総計	2,234	100.0%

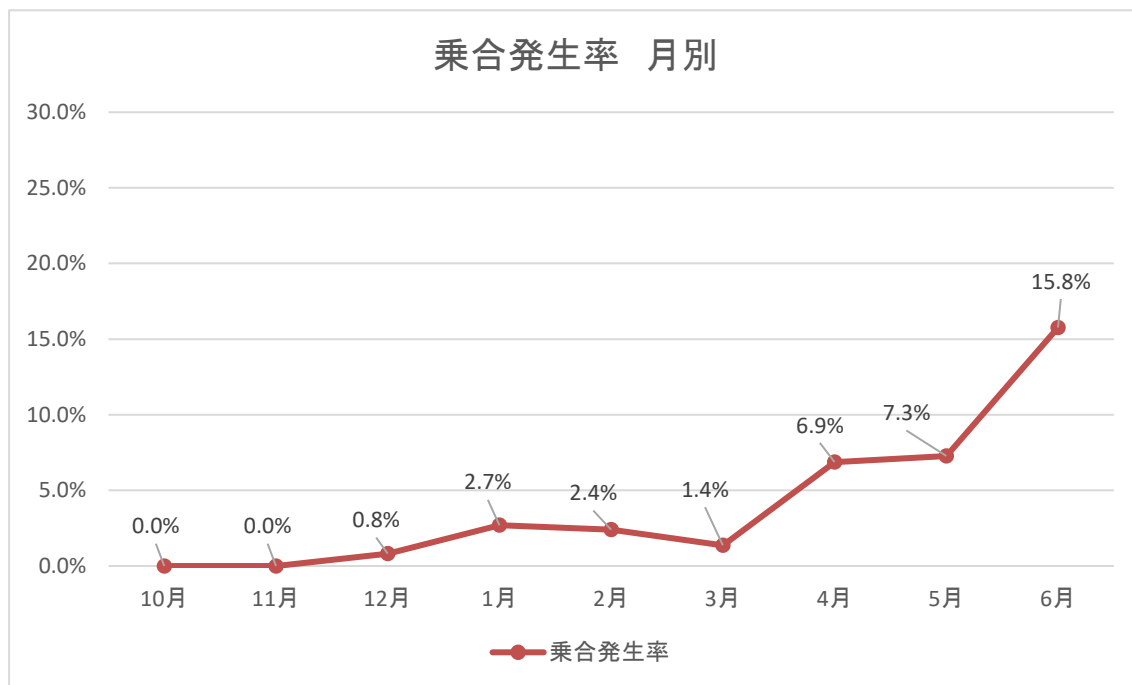


○乗合発生率 月別

令和 8 年 6 月末現在の乗合発生率は、全期間の平均で 5.7%と低水準であり、ほぼ乗合が発生していない状況となっています。しかしながら、利用者数が増加した 6 月においては、乗合発生率が 15.8%に達し、一定の頻度で乗合が発生していることが確認されます。

今後、日平均の利用者数を 30 人以上にするには、乗合の発生が不可欠となるため、効率的な運行体制を構築するとともに、乗合に伴う利用者の不満を軽減するための取り組みが重要となります。具体的には、乗合発生時の待ち時間短縮や座席の確保など、利用者満足度を高める対策を検討・実施していく必要があります。

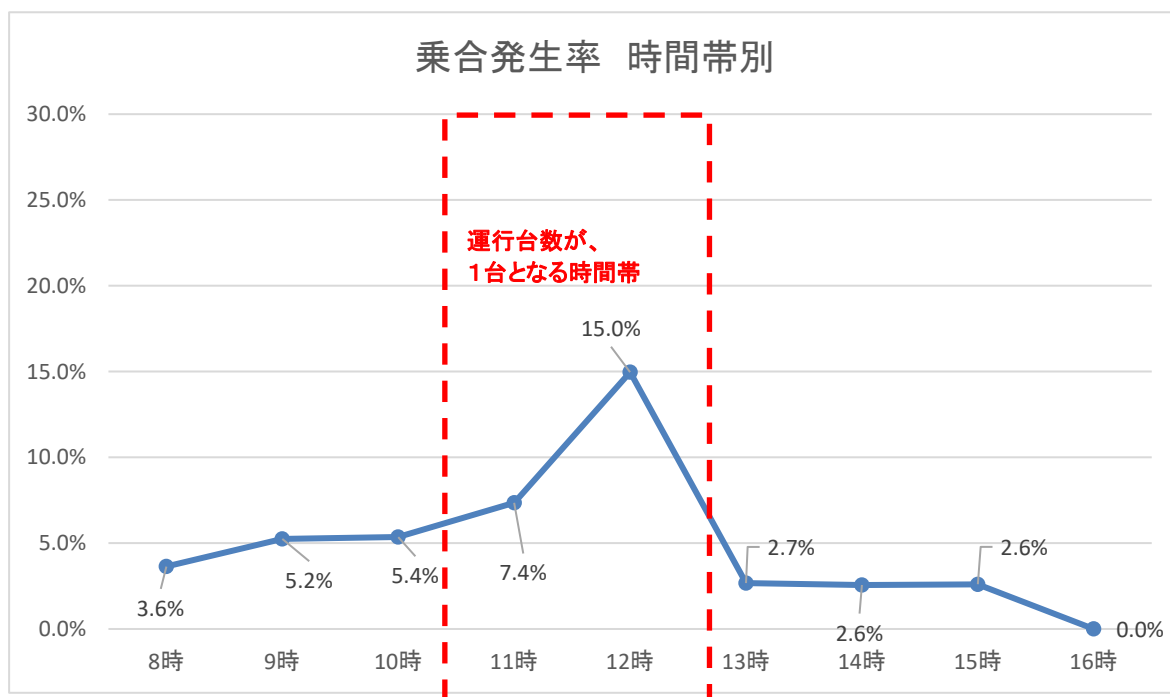
年	月	利用件数	乗合発生件数	乗合発生率
2025 年	10 月	80	0	0.0%
	11 月	105	0	0.0%
	12 月	243	2	0.8%
2026 年	1 月	223	6	2.7%
	2 月	250	6	2.4%
	3 月	291	4	1.4%
	4 月	320	22	6.9%
	5 月	316	23	7.3%
	6 月	406	64	15.8%
総数		2,234	127	5.7%



○乗合発生率 時間帯別

令和8年6月末現在の乗合発生率を時間帯別に見ると、特に12時台が15.0%と突出して高くなっており、午前中の用事を済ませた方の帰りの便と午後からの用事に向かう方の行きの便が重なっている状況が確認されます。このような時間帯による利用傾向を踏まえ、効率的な運行体制をさらに検討する必要があります。特にピーク時間帯の乗合率の改善を図ることで、利用者満足度向上と日平均の利用者数増加への貢献が期待されます。

時間帯	利用件数	乗合発生件数	乗合発生率
8時	275	10	3.6%
9時	381	20	5.2%
10時	355	19	5.4%
11時	204	15	7.4%
12時	294	44	15.0%
13時	299	8	2.7%
14時	195	5	2.6%
15時	230	6	2.6%
16時	1	0	0.0%
総計	2,234	127	5.7%



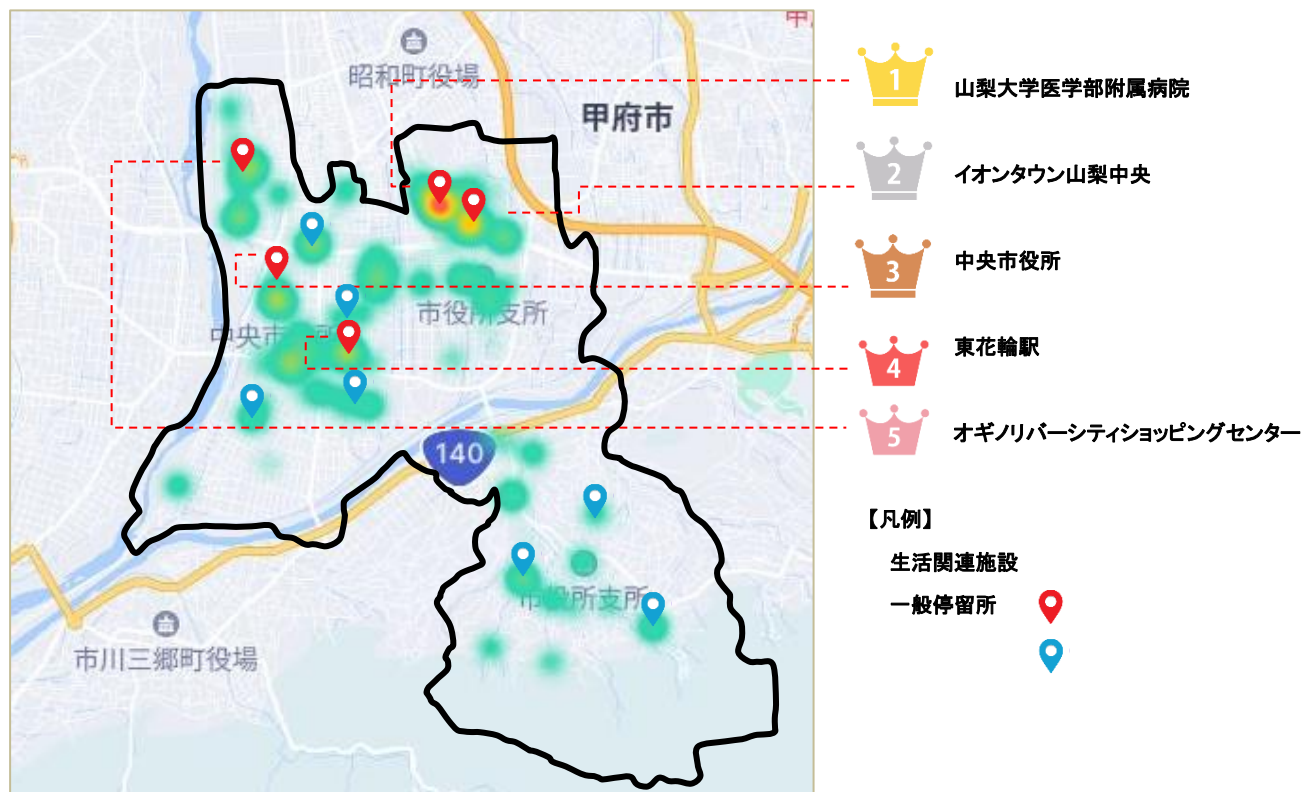
5.乗降場所分析

○目的地:降車場所の順位

令和8年6月末時点の降車場所を見ると、行きの便の目的地である生活関連施設のうち、「山梨大学医学部附属病院」が293件と最も多く、次いで「イオンタウン山梨中央」が174件、「中央市役所」が95件、「東花輪駅」が82件、「オギノリバーシティショッピングセンター」が77件と続きます。

一方、帰りの便の目的地となる一般停留所のうち、「布施第4 3」、「大鳥居 5」、「浅利 4」、「関原 1」、「桜 2」、「飛石 1」、「下三條1 4」は、特に利用の多い地域であることが分かります。

順位	降車場所(1～10位)	利用 件数	順位	降車場所(11～20位)	利用 件数
1	4024 山梨大学医学部附属病院	293	11	7020 大鳥居 6	57
2	3001 イオンタウン山梨中央	174	12	3002 イツモア玉穂ショッピングセンター	45
3	1001 中央市役所	95	13	1004 玉穂総合会館	43
4	2002 東花輪駅	82	14	7004 浅利 4	42
5	3004 オギノリバーシティショッピングセンター	77	15	7024 関原 1	37
6	5027 布施第4 3	75	16	4013 玉穂ふれあい診療所	36
7	4011 玉穂眼科クリニック	61	17	5085 桜 2	36
8	4001 赤岡整形外科医院	60	18	3007 トライアルマート西花輪店	35
9	4015 西野内科医院	59	19	5068 飛石 1	33
10	4007 きたむらクリニック	57	20	6080 下三條1 4	32



○出発地:乗降場所の順位

令和8年6月末時点の乗車場所を見ると、生活関連施設のうち「イオンタウン山梨中央」が187件で最も多く、次いで「山梨大学医学部附属病院」が167件となっています。両施設が隣接していることに加え、「山梨大学医学部附属病院」の降車件数が293件である点を踏まえると、病院受診後に隣接するイオンタウンで買い物をし、帰りの便を利用する流れがあると推測されます。

一方、一般停留所については降車件数との共通点が多いものの、「新町第2 2」、「上三條 3」、「宮北 1」など若干の差異が見られ、行きの便のみ利用し帰りは別手段を利用するケースが考えられます。今後も利用者行動のさらなる分析を行うことで、運行の改善につなげることが重要です。

順位	乗車場所(1～10位)	利用 件数	順位	乗車場所(11～20位)	利用 件数
1	3001 イオンタウン山梨中央	187	11	7004 浅利 4	46
2	4024 山梨大学医学部附属病院	167	12	3003 オギノ田富店	45
3	5027 布施第4 3	107	13	3007 トライアルマート西花輪店	41
4	1001 中央市役所	95	14	4022 保坂眼科医院	40
5	3002 イッツモア玉穂ショッピングセンター	81	15	4011 玉穂眼科クリニック	39
6	2002 東花輪駅	72	16	7024 関原 1	39
7	3004 オギノリバーシティショッピングセンター	72	17	7013 高部 3	37
8	7020 大鳥居 6	66	18	6069 上三條 3	34
9	5036 新町第2 2	59	19	5021 宮北 1	32
10	5085 桜 2	48	20	7030 大鳥居10	31

